

# クラブ対抗ネオホッケー大会 競技規則

1. 競技規則
  - (1)競技規則は、日本フロアボール連盟ネオホッケー競技ルールに準ずる。
  - (2)アリーナ北側・南側・西側の壁45cmの高さにラインを引き、そのラインより上にボールが当たった場合はアウトボールとする。
  - (3)スティックは、主催者側で準備するものの他、個人で所有するスティックも使用可能とする。ただし、旧日本ユニホック協会または日本フロアボール連盟公認のものとする。
  - (4)試合開始後は基本的に時計を止めない。ただし、ペナルティストローク、タイムアウト、選手の怪我などにより審判から宣告があった場合は時計を止める。
  - (5)タイムアウトは各チーム前半・後半それぞれ1回ずつの計2回使うことができる。時間は1回30秒とする。
  - (6)ゴールキーパーを置くことができる。
  
2. 競技方法
  - (1)試合時間は前半・後半それぞれ10分とし、ハーフタイム2分間の休憩を設け、チェンジコートを行う。その際ベンチも移動する。
  - (2)試合は原則トーナメント方式で行う。ただし、参加チーム数によりグループリーグ決勝トーナメント方式または総当たり戦を行えるものとする。3位決定戦も行うことができる。
  - (3)リーグ戦の同点の場合は、引き分けとし、延長戦、PS戦は行わない。
  - (4)トーナメント戦で前後半終了時点で同点の場合は、3分間のサドンデスの延長(ゴールデンゴール)戦を行う。
  - (5)(4)でも勝敗が決まらない場合は、サドンデスのペナルティストローク戦を行い勝敗を決定する。
  - (6)毎試合競技開始5分前までにメンバー表を提出すること。ただし、同日の2試合目以降でメンバーの変更が無ければ提出は不要とし、前の試合のメンバーを引き継ぐことができる。
  - (7)登録人数の上限は設けないが、各試合のベンチ入りは、監督1名、選手6名、交替要員6名の計13名以内とする。また、追加・変更がある場合は、開会式前までに事務局へ申し出ること。
  - (8)選手が4名以上コート内にいる場合、試合は成立するものとする。ただし、相手チームの同意を得ることとする。
  - (9)次の試合のチームは、進行状況を確認しながら必ずウォーミングアップを行いすぐ試合ができるよう準備すること。試合開始予定時間から10分以上経過しても現れないチームは、棄権とみなし不戦敗とする。
  - (10)棄権試合は5対0とする。(不戦勝5－不戦敗0)
  - (11)オーダーオフ(退場)の決定は、主審の他、審判長も主審と協議の上、決定できる。
  - (12)リーグ戦の場合は、勝ち点制とし、順位はその合計により決定する。(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)
  - (13)(12)が同点の場合は、得失点差、総得点、直接対決、ジャンケンの順により順位を決定する。
  - (14)個人得点の規定については、棄権試合となってもその試合でマークした得点は認めることとする。また、オウンゴールは個人得点に含まない。
  
3. その他
  - (1)主審ならびに副審には、必要以上にアピール(抗議)はしないこと。アピールは監督に限定し、選手は円滑な進行に協力すること。
  - (2)試合中の選手はゼッケン(ビブス)を着用すること。ただし、チームでユニフォームが揃い、かつ背番号がわかるものが装着されていれば着用しなくてもよい。(飛び番号可)
  - (3)ボール、ゼッケン等の用具は主催者が準備する。